輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

３年生「世界で一つだけのマイそろばん」作り。あたたかな繋がり！
－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

今日は、二十四節気でいう「**寒露（かんろ）**」です。朝夕は肌にやや寒気を感じ始め、そぞろ秋も深まりゆく頃といったところでしょうか。朝の空気は本当に寒く感じられるようになりました。ただ、日中はまだまだ暑さも残っていますが･･･。

さて、昨日は３年生の算盤作り体験がありました。算盤作りの職人さんをお招きし、「**世界で一つだけのマイそろばん**」を作りました。**小野市と言えば、真っ先に「そろばん」を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。**小野市の伝統工芸品の一つです。学校では３年生、４年生でそろばんの学習があります。特に、３年生は、学校に算盤の先生をお招きし、算盤の使い方を教えていただく機会があります。さらに、小野市内の全ての３年生による小学生算盤大会が３学期に開催されています。小野市の３年生にとっては結構大きな学習の一つです。昨日の算盤作りでは、職人さんの名人芸「算盤の珠入れ」をDVDで見せていただきました。たくさんの珠が入った箱の中で、ひごがついたものを数回動かすと、あら!?不思議。見事に全てのひごに算盤珠が入っているのです。「すごい!!」子供達の大歓声。正に職人芸ですね。算盤の職人さんには、ご自身が中学生の頃から、家で、この仕事を手伝い、その仕事に就かれた方が多いと伺っております。匠の技というものは、その人に、体に、心に沁みついていくものだと感じます。今までどれほどの算盤をお作りになられたのでしょうか。本当に尊いものだと思います。小野市でこの算盤作り体験事業が始まって 21 年だそうです。保護者の中にも「作った！作った！」「まだ、その算盤、持ってる！」と仰る保護者の方もおられるのではないでしょうか。20 年以上続く活動はなかなかないと思います。本当にありがたいことだと思います。このような伝統工芸品では、後継者の問題がよく言われます。昨日、来られた方のお話では、嬉しいことにこの算盤作りを継承していく若い人がおられるようです。大変立派なことであり、値打ちのあることだと思います。伝統を守り育てていくことがいかに難しいことかを感じずにはいられません。私も何度かこの算盤作りを体験させていただきましたが、なかなかいいものです。子供達を見る優しい職人さん達の眼差し、一生懸命に作ろうとしている子供達のキラキラした瞳の輝き、算盤が繋ぐあたたかな関係、その場の空気、雰囲気を微笑ましく思っておりました。「どうするの？」「ここはなあ。」と言って手本を示してくださったり、「わかれへん？」「そうか、そうか。ちょっと待っとって。」と言って、「ここはなあ、こうすんねん。」と手を取り、一緒に作ってくださったりしながら、穏やかな時間が過ぎていきました。昨日、作った「世界で一つだけのマイそろばん」は、３年生の子供達にとって大切な、大切な宝物になったと思います。そうです。その算盤の向こうには、お世話になった優しい職人さんの笑顔が見られるからです。その笑顔は、これからの算盤学習で子供達を支え、応援してくださると思います。それに応える為にも、これからの算盤学習で、子供達が意欲的に、しっかりと頑張って、活躍してくれることを切に願っています。

朝夕と日中の寒暖の差が大変大きくなっています。体調を崩しやすい状況です。こまめな水分補給、十分な睡眠、栄養バランスの摂れた食事、適度な運動、排便、起床時刻の規則化等、体調を崩さない為の予防策を講じることが重要です。何といっても**基本的な生活リズムの構築が大切です。**また、感染症対策については、引き続き、「**恐れず、正しく、適切に」対応し、感染症対策（朝の検温、マスクの着用【不織布マスクを推奨】、手洗い、手指の消毒、３密回避等）を徹底します。**保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　№４３　令和３年１０月８日　小野市立中番小学校長　田中康善